

第8回 定時総会議案書

日 時 令和元年5月21日（火）

会 場 武雄センチュリーホテル



公益社団法人 武雄法人会



総会記念公開講演会



演 題 『国際社会の中の日本 その課題と展望』

講 師 藪中 三十二 氏（やぶなか みとじ）
〔立命館大学客員教授（元 外務事務次官）〕

藪中三十二氏プロフィール

(経 歴)	1948年	大阪府生まれ	(主な著書)	
	1969年	外務省入省 韓国、インドネシア、米国にて在外公館勤務 北米局北米第二課長（日米経済摩擦担当） 国際戦略研究所（ロンドン）主任研究員 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使 1995年 大阪大学 特任教授（現職） 1998年 在シカゴ日本国総領事館総領事 2002年 アジア大洋州局長（六者協議首席代表） 2005年 外務審議官（経済担当・G8サミット・シェルバ） 2007年 外務審議官（政務担当） 2008年 外務事務次官に就任 2010年 外務省退官 現 在 立命館大学客員教授、大阪大学特任教授		
				『世界基準の交渉術』（宝島社、2019年3月） 『トランプ時代の日米新ルール』（PHP研究所、2017年6月） 『世界に負けない日本』（PHP研究所、2016年5月） 『日本の針路—ヒントは交隣外交の歴史にあり』（岩波書店、2015年2月） 『国家の命運』（新潮社、2010年10月） 『対米経済交渉—摩擦の実像』（サイマル出版会、1991年11月） 等多数

法人会の基本的指針

法人会は

よき経営者をめざすものの団体として
会員の積極的な自己啓蒙を支援し
納税意識の向上と
企業経営および社会の
健全な発展に貢献します

よき経営者の指針

- ① 経営者としての責務を果たすため自己研鑽に努める。
- ② 企業の健全な維持発展を図る。
- ③ 従業員が安心して働けるよう職場環境を整える。
- ④ 従業員教育と経営者育成に努める。
- ⑤ 良質の製品、商品、サービスを通じて社会に寄与する。
- ⑥ 適正な納税を通じて社会に寄与する。
- ⑦ 地域の一員として社会の発展に寄与する。

めざします 企業の繁栄と社会への貢献

定 時 総 会 次 第

第 1 部 第 8 回 定 時 総 会

- 1、開会のことば
- 2、ご来賓の紹介
- 3、会長あいさつ
- 4、議長就任
- 5、議事録署名人の指名
- 6、定足数の報告
- 7、議案の審議

第 1 号議案 平成30年度決算報告承認の件

第 2 号議案 任期満了に伴う役員改選案承認の件

第 3 号議案 その他
- 8、報告事項

(1) 理事会承認事項

① 平成30年度事業報告について

② 令和元年度事業計画について

③ 令和元年度収支予算について
- 9、法人会功労者表彰
- 10、ご来賓祝辞

武 雄 税 務 署 署長 大 坪 啓 文 様

佐賀県武雄県税事務所 所長 田 中 祐 二 様
- 11、閉会のことば

第 2 部 記 念 公 開 講 演 会

第 3 部 会 員 の 集 い

15時～

16時15分～

18時～

第 1 号議案 平成30年度 決算報告承認の件

貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金	17, 485	56, 682	△ 39, 197
預 金	4, 072, 647	3, 882, 237	190, 410
【流 動 資 産 合 計】	4, 090, 132	3, 938, 919	151, 213
2. 固 定 資 産			
(1)基本財産			
定期預金	5, 000, 000	5, 000, 000	0
【基 本 財 産 合 計】	5, 000, 000	5, 000, 000	0
(2)特定資産			
周年行事引当資産	2, 200, 000	2, 200, 000	0
減価償却引当資産	268, 746	268, 746	0
【特 定 資 産 合 計】	2, 468, 746	2, 468, 746	0
(3)その他の固定資産			
構築物（野立看板 一基）	0	0	0
【その他の固定資産合計】	0	0	0
【固 定 資 産 合 計】	7, 468, 746	7, 468, 746	0
【資 産 合 計】	11, 558, 878	11, 407, 665	151, 213
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	146, 183	0	146, 183
預 り 金	242, 848	235, 182	7, 666
【流 動 負 債 合 計】	389, 031	235, 182	153, 849
2. 固 定 負 債			
【固 定 負 債 合 計】	0	0	0
【負 債 合 計】	389, 031	235, 182	153, 849
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
(うち基本資産への充当額)	11, 169, 847	11, 172, 483	△ 2, 636
(うち特定資産への充当額)	(5, 000, 000)	(5, 000, 000)	(0)
	(2, 468, 746)	(2, 468, 746)	(0)
【正 味 財 産 合 計】	11, 169, 847	11, 172, 483	△ 2, 636
【負債及び正味財産合計】	11, 558, 878	11, 407, 665	151, 213

※付属明細書は財務諸表の注記に記載しているので省略

正味財産増減計算書（総括表）

自 平成 30 年 4 月 1 日 ～ 至 平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	950	1,330	△ 380	
基本財産受取利息	950	1,330	△ 380	500 万円に対し預金利息
特定資産運用益	576	617	△ 41	
特定資産受取利息	576	617	△ 41	特定預金利息
受取会費	8,128,500	8,106,500	22,000	
正会員受取会費	7,970,000	7,975,000	△ 5,000	年会費収入
賛助会員受取会費	158,500	131,500	27,000	〃
事業収益	1,574,000	1,630,000	△ 56,000	
研修事業収益	0	0	0	
広報事業収益	80,000	110,000	△ 30,000	広告料
福利厚生事業収益	0	308,000	△ 308,000	
会員親睦事業収益	1,494,000	1,212,000	282,000	会員交流会費
受取補助金	14,231,400	13,971,200	260,200	
受取全法連助成金	300,000	300,000	0	全法連より
受取全法連補助金振替額	13,210,400	12,719,200	491,200	全法連より助成金
受取県連補助金	721,000	952,000	△ 231,000	県連より補助金
受取負担金	279,000	312,000	△ 33,000	
青年・女性部会負担金	279,000	312,000	△ 33,000	青年・女性部会年会費
雑収益	1,291,694	1,338,047	△ 46,353	
受取利息	54	47	7	預金利息
雑収益	1,291,640	1,338,000	△ 46,360	厚生組織部門褒賞金・祝金・会議時当日会費等
経 常 収 益 計	25,506,120	25,359,694	146,426	
(2) 経常費用				
1. 事業費	19,430,018	18,748,115	681,903	(従事割合)公益事業：69％・収益事業：7％
役員報酬	3,363,000	3,363,000	0	(従事割合)
給料手当	2,671,549	2,580,349	91,200	(従事割合)
福利厚生費	1,025,133	865,234	159,899	職員法定福利費他 (従事割合)
会議費	3,431,539	3,406,020	25,519	委員会、会員交流会他
旅費交通費	1,898,592	2,085,018	△ 186,426	業務に係る旅費・講師旅費 (従事割合)
通信運搬費	1,107,120	850,716	256,404	研修案内等 (従事割合)
消耗品費	345,864	481,382	△ 135,518	コピー用紙・封筒他 (従事割合)
水道光熱費	109,543	117,912	△ 8,369	事務所に係る電気・ガス・水道料 (従事割合)
図書印刷費	297,696	323,892	△ 26,196	各種案内・資料等印刷 (従事割合)
広報誌発行費	393,984	393,984	0	広報誌発行印刷等
諸謝金	2,274,317	1,764,387	509,930	講師に対する講演料等の謝礼金
支払負担金	22,800	22,800	0	各種団体との共催事業に係る負担金
事務委託費	68,400	68,400	0	商工会等への業務委託費 (従事割合)
会場費	342,256	339,270	2,986	研修会等に係る会場費・機器使用料
記念品費	732,031	783,883	△ 51,852	各事業に関する記念品・粗品等
リース料	457,806	382,786	75,020	コピー機・パソコン他のリース料(従事割合)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
賃借料	541,728	541,728	0	事務所・駐車場の賃借料 (従事割合)
支払手数料	202,544	172,618	29,926	会費自振手数料・銀行振込手数料他 (従事割合)
雑費	144,116	204,736	△ 60,620	ジャンパークリーニング代他 (従事割合)
2. 管理費	6,078,738	5,845,162	233,576	(従事割合) 法人会計：24％
役員報酬	1,062,000	1,062,000	0	(従事割合)
給料手当	843,647	814,847	28,800	(従事割合)
福利厚生費	323,726	273,231	50,495	(従事割合)
会議費	1,080,945	1,070,972	9,973	総会・各種会議等会員交流会他
旅費交通費	438,198	389,982	48,216	(従事割合)
通信運搬費	269,204	238,345	30,859	(従事割合)
消耗品費	109,220	152,016	△ 42,796	(従事割合)
水道光熱費	34,593	37,236	△ 2,643	(従事割合)
図書印刷費	242,150	204,940	37,210	(従事割合)
広報誌発行費	124,416	124,416	0	(従事割合)
諸謝金	333,500	337,280	△ 3,780	顧問税理士報酬
支払負担金	506,900	496,500	10,400	県連会費 (青年・女性部会含む) 他
事務委託費	21,600	21,600	0	(従事割合)
会場費	95,904	101,760	△ 5,856	総会・諸会議に係る会場費
渉外慶弔費	109,596	59,150	50,446	役員等の慶弔費
リース料	144,570	120,879	23,691	(従事割合)
賃借料	171,072	171,072	0	(従事割合)
支払手数料	63,961	54,511	9,450	(従事割合)
雑費	103,536	114,425	△ 10,889	(従事割合)
経 常 費 用 計	25,508,756	24,593,277	915,479	
当 期 経 常 増 減 額	△ 2,636	766,417	△ 769,053	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,636	766,417	△ 769,053	
一般正味財産期首残高	11,172,483	10,406,066	766,417	
一般正味財産期末残高	11,169,847	11,172,483	△ 2,636	
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	13,210,400	12,719,200	491,200	
受取全法連助成金	13,210,400	12,719,200	491,200	
一般正味財産への振替額	△ 13,210,400	△ 12,719,200	△ 491,200	
一般正味財産への振替額	△ 13,210,400	△ 12,719,200	△ 491,200	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ. 正味財産期末残高	11,169,847	11,172,483	△ 2,636	

正味財産増減計算書内訳表

自平成 30 年 4 月 1 日 ～ 至 平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

【公益事業費割合 59.5%】

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計	他 1	他 2	共 通		
I. 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息	0	0	950	950	0	0	0	0	950
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	576	576
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	576	576
受取会費	0	0	812,850	812,850	0	0	2,844,975	4,470,675	8,128,500
正会員受取会費	0	0	797,000	797,000	0	0	2,789,500	4,383,500	7,970,000
賛助会員受取会費	0	0	15,850	15,850	0	0	55,475	87,175	158,500
事業収益	36,800	18,400	0	55,200	800	1,498,800	0	19,200	1,574,000
広報事業収益	36,800	18,400	0	55,200	800	4,800	0	19,200	80,000
会員親睦事業収益	0	0	0	0	0	1,494,000	0	0	1,494,000
受取補助金等	0	0	13,410,400	13,410,400	200,000	0	0	621,000	14,231,400
受取全法連補助金振替額	0	0	13,210,400	13,210,400	0	0	0	0	13,210,400
受取全法連助成金	0	0	0	0	150,000	0	0	150,000	300,000
受取県連補助金	0	0	200,000	200,000	50,000	0	0	471,000	721,000
受取負担金	0	0	0	0	0	279,000	0	0	279,000
青年女性部会負担金	0	0	0	0	0	279,000	0	0	279,000
雑収益	4,000	0	0	4,000	400,000	458,000	0	429,694	1,291,694
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	54	54
雑収益	4,000	0	0	4,000	400,000	458,000	0	429,640	1,291,640
経 常 収 益 計	40,800	18,400	14,224,200	14,283,400	600,800	2,235,800	2,844,975	5,541,145	25,506,120
(2) 経常費用	(公1) 46%	(公2) 23%		69%	(他1) 1%	(他1) 6%		7%	(法人) 24%
事業費	9,388,395	5,791,764	0	15,180,159	335,253	3,914,606	0	4,249,859	0
役員報酬	2,035,500	1,017,750	0	3,053,250	44,250	265,500	0	309,750	0
給与手当	1,616,990	808,495	0	2,425,485	35,152	210,912	0	246,064	0
福利厚生費	620,475	310,238	0	930,713	13,489	80,931	0	94,420	0
会議費	844,305	78,829	0	923,134	121,135	2,387,270	0	2,508,405	0
旅費交通費	838,560	473,510	0	1,312,070	23,097	563,425	0	586,522	0
通信運搬費	729,837	341,853	0	1,071,690	5,061	30,369	0	35,430	0
消耗品費	209,339	104,669	0	314,008	4,551	27,305	0	31,856	0
水道光熱費	66,303	33,151	0	99,454	1,441	8,648	0	10,089	0
図書印刷費	101,540	166,996	0	268,536	0	29,160	0	29,160	0
広報誌発行費	238,464	119,232	0	357,696	5,184	31,104	0	36,288	0
諸謝金	758,089	1,496,228	0	2,254,317	0	20,000	0	20,000	0
支払負担金	22,800	0	0	22,800	0	0	0	0	0
事務委託費	41,400	20,700	0	62,100	900	5,400	0	6,300	0
会場費	174,100	168,156	0	342,256	0	0	0	0	342,256
記念品費	275,892	244,557	0	520,449	63,280	148,302	0	211,582	0
リース料	277,093	138,546	0	415,639	6,024	36,143	0	42,167	0
賃借料	327,888	163,944	0	491,832	7,128	42,768	0	49,896	0
支払手数料	122,592	61,296	0	183,888	2,665	15,991	0	18,656	0
雑費	87,228	43,614	0	130,842	1,896	11,378	0	13,274	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	6,078,738
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	1,062,000
給与手当	0	0	0	0	0	0	0	0	843,647
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	323,726
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,080,945
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	438,198
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	269,204
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	109,220
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	34,593
図書印刷費	0	0	0	0	0	0	0	0	242,150
広報誌発行費	0	0	0	0	0	0	0	0	124,416
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	333,500
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	506,900
事務委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	21,600
会場費	0	0	0	0	0	0	0	0	95,904
渉外慶弔費	0	0	0	0	0	0	0	0	109,596
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	144,570
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	171,072
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	63,961
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	103,536
経 常 費 用 計	9,388,395	5,791,764	0	15,180,159	335,253	3,914,606	0	4,249,859	25,508,756
当期経常増減額	△9,347,595	△5,773,364	14,224,200	△896,759	265,547	△1,678,806	2,844,975	1,431,716	△2,636
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	51,068	51,068	0	0	△51,068	△51,068	0
当期一般正味財産増減額	△9,347,595	△5,773,364	14,275,268	△845,691	265,547	△1,678,806	2,793,907	1,380,648	△2,636
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	11,172,483	11,172,483
一般正味財産期末残高	△9,347,595	△5,773,364	14,275,268	△845,691	265,547	△1,678,806	2,793,907	10,634,890	11,169,847
II. 指定正味財産増減の部									
受取補助金等	0	0	13,210,400	13,210,400	0	0	0	0	13,210,400
受取全法連助成金	0	0	13,210,400	13,210,400	0	0	0	0	13,210,400
一般正味財産への振替額	0	0	△13,210,400	△13,210,400	0	0	0	0	△13,210,400
一般正味財産への振替額	0	0	△13,210,400	△13,210,400	0	0	0	0	△13,210,400
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III. 正味財産期末残高	△9,347,595	△5,773,364	14,275,268	△845,691	265,547	△1,678,806	2,793,907	1,380,648	11,169,847

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法

定額法で減価償却を実施する。

(2)消費税等の会計処理

消費税込額で表示している。

(3)その他

特になし

2. 会計方針の変更

特になし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5, 000, 000	0	0	5, 000, 000
小 計	5, 000, 000	0	0	5, 000, 000
特定資産				0
周年行事引当資産	2, 200, 000	0	0	2, 200, 000
減価償却引当資産	268, 746	0	0	268, 746
小 計	2, 468, 746	0	0	2, 468, 746
合 計	7, 468, 746	0	0	7, 468, 746

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	5, 000, 000	－	(5, 000, 000)	－
小 計	5, 000, 000	－	(5, 000, 000)	－
特定資産				
周年行事引当資産	2, 200, 000	－	(2, 200, 000)	－
減価償却引当資産	268, 746	－	(268, 746)	－
退職給付引当資産	0	－	－	(0)
小 計	2, 468, 746	(0)	(2, 468, 746)	(0)
合 計	7, 468, 746	(0)	(7, 468, 746)	(0)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
県連補助金	(一社) 佐賀県法人会連合会	0	721,000	721,000	0	一般正味財産
全法連補助金	(公財) 全国法人会連合会	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
助成金						
全法連助成金	(公財) 全国法人会連合会	0	13,210,400	13,210,400	0	一般正味財産
合 計		0	14,231,400	14,231,400	0	

6. 担保に供している資産

特になし

7. 重要な後発事象

特になし

8. その他

特になし

財 産 目 録

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現 金	手持保管	運転資金として	17, 485	
	預 金	普通預金	運転資金として		
		佐賀銀行武雄支店		1, 457, 645	
		” ”		336, 651	
		佐賀共栄銀行武雄支店		62, 028	
		九州ひぜん信用金庫本店営業部		336, 096	
		” 宮野町支店		1, 524, 197	
		佐賀西信用組合武雄支店		267, 301	
		佐賀県農業協同組合武雄支所		88, 729	
		(小計)		4, 072, 647	
流動資産合計				4, 090, 132	
(固定資産) 基本財産	預 金	定期預金	公益目的保有財	2, 000, 000	
		佐賀銀行武雄支店	益を公益事業の	1, 000, 000	
		九州ひぜん信用金庫本店営業部	財源として使用	2, 000, 000	
		佐賀西信用組合武雄支店	している		
		(小計)		5, 000, 000	
	特定資産	周年行事引当資産 減価償却引当資産	定期預金		
			九州ひぜん信用金庫本店営業部		800, 000
			佐賀西信用組合武雄支店		1, 400, 000
			九州ひぜん信用金庫宮野町支店		268, 746
			(小計)		2, 468, 746
固定資産合計				7, 468, 746	
資 産 合 計				11, 558, 878	
(流動負債)	未払金 預り金	(株) 清川	社会保険料 源泉税	146, 183	
		社会保険事務所		201, 658	
		税務署		41, 190	
		(小計)		389, 031	
流動負債合計				389, 031	
固定負債合計				0	
負 債 合 計				389, 031	
正 味 財 産				11, 169, 847	
負債及び正味財産合計				11, 558, 878	

監 査 報 告 書

2019 年 4 月 1 8 日

公益社団法人 武雄法人会
会長 馬 渡 洋 三 殿

監 事 山口 直孝
監 事 桑 原 泰 蔵
監 事 相 森 久

私ども監事は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行、計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書を監査し、公益社団法人に関する法律第 99 条及び同法第 124 条に基づき、その方法及び結果について下記のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容
- 私どもは、理事会並びに各理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。
- 以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告の内容について検討いたしました。
- さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査並びに現金、預金通帳等の实地調査を行い、当該事業年度に係る計算書類について、その適正性について検討いたしました。

2. 監査意見
- (1) 事業報告等の監査結果
- ア. 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- イ. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。
- (2) 計算書類等の監査結果
- 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

第2号議案 任期満了に伴う役員改選(案)承認の件



令和元年度 新任役員名簿案 (敬称略・あいうえお順)

◆理事

令和元年5月21日現在

NO	地区	氏 名	勤務先・役職名	適 要
1	鹿島	愛野 時興	祐徳自動車(株) 社長	重任
2	武雄	石丸 清	(株)石丸建設 社長	重任
3	江北	石井 芳宏	(株)石井建設 社長	重任
4	塩田	一ノ瀬カヅ枝	(株)一ノ瀬畜産 会長	女性部会長 重任
5	鹿島	植松 信安	(株)植松建設 社長	重任
6	武雄	上田 量己	(有)上田設備 社長	重任
7	大町	内田 雅之	(株)内田建設 社長	重任
8	山内	大渡 幸雄	(株)オーテック 社長	重任
9	鹿島	小笠原正行	(株)小笠原 社長	重任
10	塩田	尾形 民生	公社) 武雄法人会 専務	事務局 重任
11	塩田	小田 勝良	志田陶磁器(株) 社長	重任
12	嬉野	香月 一昭	(株)大正屋 常務	重任
13	福富	川崎 政男	三共運輸(株) 会長	重任
14	武雄	木下 里美	(株)佐賀銀行執行役員武雄支店長	新任
15	福富	草場 祥則	(有)くさば 社長	重任
16	福富	久原俊太郎	(有)開成運送 社長	重任
17	太良	久保 繁幸	(株)夜灯見荘 社長	重任
18	白石	倉持 實	(有)倉持建設 会長	新任
19	嬉野	小原 健史	(株)和多屋別荘 会長	重任
20	嬉野	下田 高嘉	(株)和楽園 社長	重任
21	武雄	角 良孝	角味噌醬油(株) 社長	重任
22	太良	副島敬三郎	副島建設(株) 社長	重任
23	江北	立石 良作	(有)日生開発 社長	重任
24	武雄	田中隆一郎	(有)中枘旅館 社長	重任
25	塩田	田口 好秋	田口運送(株) 社長	重任
26	鹿島	中島 雅人	中島建設(株) 社長	重任
27	嬉野	中島陽一郎	(有)中島美香園 社長	新任
28	白石	原田 三男	(株)エムズクリーンサービス 会長	重任
29	武雄	平岡 清宏	(株)橋口組 会長	重任
30	有明	前田弘次郎	(有)サクラ商事 社長	重任

NO	地区	氏 名	勤務先・役職名	適 要
31	武雄	馬渡 洋三	(株)馬渡商会 社長	重任
32	武雄	溝上 邦治	九州ひぜん信用金庫 会長	重任
33	大町	溝上 武明	九州ひぜん信用金庫 理事	新任
34	武雄	光武 俊博	五光建設(株) 執行役員	青年部会長 新任
35	北方	光武 信雄	光武製菓(株) 会長	重任
36	鹿島	光武 涉	東亜工機(株) 社長	重任
37	江北	峰 英太郎	(株)峰組 会長	重任
38	鹿島	森 孝一	森鉄工(株) 社長	重任
39	山内	宮副 敏行	(有)宮副建設 社長	重任
40	鹿島	矢野 善紀	矢野酒造(株) 社長	重任
41	鹿島	山口 健一	佐賀山口産業(株) 顧問	重任
42	北方	山口 康雄	(株)連合運輸 会長	重任
43	武雄	山炭 徳義	五光建設(株) 常務	重任
44	鹿島	吉武 浩幸	祐徳薬品工業(株) 社長	重任

◆監事

NO	地区	氏 名	勤務先・役職名	適 要
1	嬉野	桑原 泰蔵	桑原税理士事務所 所長	重任
2	鹿島	栢森 久	佐賀西信用組合 理事長	重任
3	武雄	山口 直孝	山口会計事務所 公認会計士	重任

◆相談役

NO	地区	氏 名	勤務先・役職名	適 要
1	鹿島	白川 秀樹	九州北部税理士協会武雄支部	重任
2	武雄	古賀 利洋	九州北部税理士協会武雄支部	新任
3	武雄	鬼橋 正敏	弁護士法人みどり法律事務所 所長	重任
4	武雄	井手 静雄	井手社会保険労務士事務所 所長	重任

平成30年度事業報告 (活動のトピックス)



日本一の法人会をめざす

公益社団法人 武雄法人会

平成30年度事業報告（活動のトピックス）

ここ20年の間、県内で何と約2766社の会員数が減少しております。

これは、例えば悪いかも知れませんが、県内の単位会3つが無くなったに等しいことなのです。武雄法人会はこの状況に危機感を抱き、会員減少の内容を慎重に検討分析して、すべては会員企業のメリットの提供と身近な組織化に課題があると結論付け、さらに付加価値の高い組織化を目指してコミュニケーションの強化を図ることにしました。

その結果今年度も18社の退会がありましたが、40社の入会を頂きまして、見事に会員の純増を果たすことが出来ました。これで5年連続して増加を図ることが出来まして、全国440の単位会の中でも10指に入る極めて優秀な法人会となりました。当会はここ5年間で181社の新規加入を実現しました。来年度も6年連続に向けてもさらに精進を重ね努力をしてまいります。



武雄税務署管内3市4町に跨る異業種交流会を設立、3ヵ月に一回程度の例会を開催、地域内の経済情報交流・ビジネスマッチングにおける経済ポテンシャルを高めることとしました。例会も10回を数え、参加企業は52社と勢力を拡大、毎回懇親会を催すことで、会員相互の活発な交流が図られております。

会員企業様によるゴルフコンペを立ち上げました。今年度は4回目の開催となり85社が参加、盛況を極めております。来年度は5回記念大会を盛大に開催したいと思います。記念大会は10月に予定しております。

会報誌の編集コンセプトを「ローカルターゲット」として会員企業を紹介、当会法律顧問・労務顧問様の執筆をお願いするなど身近な記事を取材、会報をより親しみやすいものに致しました。

委員会・青年・女性部会の会議機会を増やし、相互コミュニケーションの活性化を図りました。

令和元年度も公益社団法人としての公益事業に力点を置きつつ、会員企業様のお役に立てるよう頑張っておりますので、倍旧のご指導ご鞭撻のほど衷心よりお願い申し上げます。

◆貸借対照表上のポイント（資産の部）

未払金146千円は異業種交流会費用請求もれです。その他は大きな変動はございませんでした。また法人会の財務バランス上、特に問題になるような不健全資産はありません。さらに負債についても問題になるようなものはございません。

◆正味財産増減計算書（総括表）（収益の部）

この計算書は企業にとっての損益計算書のようなものです。公益社団法人として非課税団体の指

定を受けておりますが、その存続条件として公益事業の比率が50%以上が達成されていなくてはならないという縛りがあります。今期はその比率が約6割と、条件を十分に満たしております。

経常収益の部は厚生部門を柱とする全法連からの助成金が5年連続して増加した結果、昨年度より491千円増加、13,210千円となりました。逆に県連からの補助金は青年部全国大会準備のためと231千円減らされてしまいました。

5年間で補助助成金は2,090千円増加、経常収益に占める割合は55.8%で当会運営の要となっております。厚生部門は法人会加入のメリットとして今後も一層拡充連携を図ってまいりたいと思います。

雑収益1,292千円は、会員増強キャンペーン・厚生部門キャンペーン等の報償金であります。武雄法人会は県内で賞金稼ぎと揶揄されております。この結果収益の部は全体で昨年度と比較して146千円増と5年続きで増加、累計は4,089千円となりましたが、これはそのまま会の活性化に直結する数値であります。

◆正味財産増減計算書（総括表）（経常費用の部）

事務局運営経費、所謂ランニングコストにおいて例年と大差ありません。通信運搬費増256千円増加分は武雄税務署様の依頼により消費税率アップに伴う軽減税率制度の説明会を開催したための費用他、郵便料金の値上げに伴うものです。

諸謝金510千円増加は事業収益の増加に対応して、公開講演会の招聘する講師のグレードアップをしたためのものです。因みに5月にケントギルバート氏と、11月に舞の海秀平氏をお呼びしてたくさんの動員を記録しました。

他に例年と比較して大きな変動はありません。

◆正味財産増減計算書内訳表について

（以下の項目について従事割合に従い算出致します）

（公1）とは税政・税務に関する公益目的の事業

（公2）とは地域社会への貢献事業

（共通）とは（公1）にも（公2）にも関係する事業

◆収益事業

（他1）とは会員のための福利厚生事業

（他2）とは会員支援のための親睦・交流事業

（共通）とは（他1）。（他2）のどちらにも共通する事業

◆法人会計

武雄法人会を維持管理するための費用役員会他委員会など（ただし研修・税制・厚生委員会を除きます）



明るく健全でいつもポジティブな法人会を志向して頑張ります。皆様のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

平成31年4月24日理事会第一号議案

令和元年度定時総会報告事項

 公益社団法人 武雄法人会

「平成30年度事業報告書」

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

◆事業活動の基本方針

武雄法人会は公益法人化8年目となる平成30年度も、地域における「税のオピニオンリーダー」として「よき経営者をめざすものの団体」を標榜すると共に、「会員の積極的な自己啓発を支援」し、「納税意識の高揚・向上」と「企業経営および地域社会の健全な発展に貢献する」という基本方針に則り、親会はもとより、青年部・女性部会の活動をより活性化させ、会員と関係団体さらには地域の皆様と協力・連携して各種事業活動を遂行してまいりました。

公益法人格としての社会的な立場に留意しつつも、会員組織としての二面性にも配慮しつつ活動を行いました。

とりわけ全国的にも、また県内においても会員数の減少に歯止めがかからぬ中、法人会の存在意義を根底から深く掘り下げ、会員のメリットの追及に力点を置いた、開かれた法人会として地道な活動に力点を置いてまいりました。

その結果、5年連続して今期も会員数の増強を達成することが出来ました。次年度も引き続き常に武雄法人会の設立理念を根底に見据え、日々の地道な活動に邁進して活力溢れる法人会としての事業遂行に努力してまいりたいと思います。

◆主な事業報告

I、公益目的事業関係

1、税知識の普及を目的とする事業(公1)

小学生の頃より「税」に親しんで理解を深めて貰うべく、当会青年部・女性部会員で構成される社会貢献プロジェクト委員会を中心に、毎年武雄税務署管内の小学校の6年生を対象とした租税教室・税の絵はがきコンクールを開催しています。

今年度は平成31年1月に、白石町立白石小学校(27名)、武雄市立若木小学校(12名)、鹿島市立鹿島小学校(50名)、嬉野市立吉田小学校(21名)、の4校で合計110名の児童を対象に、夫々開催致しました。租税教室は税務署で「租税教室講師養成研修会」を受講した(今年度は4名が受講)青年部の租税教育活動委員会会員の授業主導の下、アニメなども教材に使いながら、税で支えられている社会の仕組みを判り易く教えるものです。また教材として全法連が作成し

た税の啓発用漫画冊子「タックスファンドとけんた君」を、実施した4校の児童に配布、さらに武雄税務署にも租税教室のテキストとして合計2500冊を配布致しました。

さらに、女性部会が主体となって開催する「税に関する絵はがきコンクール」を上記の4校で実施、合計99点の作品応募が寄せられました。

例年通りに、武雄税務署署長様、国税統括官様、親会総務委員長、女性部、青年部の部会員さんと、外部の学識経験者を交え、厳正な審査の結果、各小学校毎に最優秀作品1点、武雄税務署署長賞1点、優秀作品2点、入賞作品4～6点を選出し、最優秀作品は県連審査会を経て九州北部法人会連合会で審査を受けました。

その結果今年度は当会最優秀作品が県連会長賞を受賞致しました。

それぞれの小学校の入賞作品については、女性部・青年部から部会員が出席して校長室等で表彰式を行い、賞状と記念品を贈らせて頂きました。さらに優秀作品については対象となった小学校の近くの金融機関、郵便局、学校等に約1か月ほど掲示をさせて頂きました。

また管内中学3年生を対象とした「税の作文コンクール」につきましては、納税貯蓄組合連合会のサポート役として青年部・女性部が手分けしてあたり、事前準備としての管内中学19校に応募の原稿用紙を配布して、作品応募を依頼、夏休み終了後に16校から全859の作品を集めました。当会としましては青年部・女性部会の社会貢献プロジェクト委員会委員により、例年通りに全作品を丁寧に読みほどこき、評価をするという中間審査のお手伝いを致しました。

2、税務知識の高揚を目的とする事業(公2)

(1)税務研修会

税務知識の習得は企業における、よりよき経営の必須条件であるばかりでなく、正しい申告納税制度を推進させることにも寄与する大切な仕事であることから、年に一回の割合で、武雄税務署と共催で、「新設法人説明会」を開催しています。平成30年度は26社のご参加を頂きました。新設法人に対する法人会計の説明をDVD等で行いましたが、当会への入会アプローチが今後の課題であり、次年度はさらに相応しい取り組みを行いたいと思います。

また武雄税務署法人課税部門のご協力を得て、四半期に一度の頻度で「決算事務説明会」を開催しており、平成30年度は会員企業102名、非会員企業49名、合計151名の参加を頂きました。当会よりその際には全法連が策定した「税務コンプライアンスチェックシート・入門編」を配布して、その活用についての説明を致しました。

10支部にまたがる支部研修会は、例年武雄税務署各部門のご担当様などを講師にお迎えして各地域毎に開催しておりますが、今年度はとりわけ「中小企業も待ったなし働き方改革」というテーマで当会相談役で社会保険労務士井手静雄先生のセミナーを開催して好評を博しました。会員企業より287名、非会員企業より32名の合計319名のご参加を頂きました。当会よりその際には全法連が策定した「税務コンプライアンス チェックシート・入門編」を配布して、その活用についての説明を致しました。

今年度のトピックスとしては武雄税務署様と共催で12月に「消費税の軽減税率制度説明会」を開催して会員144名非会員43名の合計187名の参加を頂きました。

さらに毎年11月の第二週に開催される「税を考える週間」に協調する意味から、武雄税務署

長様を講師としてお迎えして、当会より青年部、女性部会会員38名及び武雄間税会との共催による合同税務研修会を開催して、大坪啓文税務署長様より「法人に対する重加算税の付加について」のテーマで、他では中々聞くことのできない、知見と専門性の高い有意義なご講演を拝聴致しました。

（２）広報事業

税の広報誌として「ほうじん武雄」を毎年８月と１月の二回にわたり定期的に発行しておりますが、今年度も編集方針を「もっと身近な会報へ」と常に見直しを行い、会員企業訪問シリーズや、顧問弁護士、顧問社会保険労務士による専門知識の習得に結び付く連載随筆などを掲載し、さらに法人会の活動報告等も写真やレイアウトに工夫を凝らし、親しみ易くまた見易く致しました。１回の発行部数2100部のうち会員向けに1200部を発送し、市役所・町役場・金融機関などに一般向けとして900部を配布しています。また全法連発行の「ほうじん」は季報として年４回夫々1600部発行されておりますが、「ほうじん武雄」と同様に配布しております。

武雄税務署管内における税務広報推進協議会（当会も編集委員として積極的に参加）が発行する「ぜいむ杵藤」は管内の全世帯約5万3千に配布されており、今年度も発行資金の一部負担と、誌面に武雄法人会の公益活動内容を広報しました。また国が提唱するe-tax（国税電子申告・納税システム、軽減税率の周知活動）の普及についてもあらゆる機会を通じて広報活動を行っております。

さらに当会のホームページを利用した税の啓蒙活動につきましても、支部研修会、決算事務説明会、租税教室、税を考える週間などにおける活動状況を頻繁に更新して紹介し、広く情報公開しております。

３、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

平成31年度税制改正に関するアンケート調査の実施については、当会税制委員会委員を始めとして、役員、九州北部税理士会武雄支部、青年部・女性部会員、一般会員からランダムに抽出して本会より30名の回答を得ました。これらの意見を包含して、平成31年度税制改正要望事項の検討については、県連税制委員会により佐賀県単位会の総意として要望事項が取り纏められました。その意見集約された提言は法人会全国大会において、採択された要望事項が発表される手筈となっておりますが、当会からその全国大会（10月鳥取市で開催）に4名が参加しました。

また、11月に当会の会長、税制委員長、専務理事で平成31年度の税制改正提言書を、管内の自治体（武雄市・鹿島市・嬉野市）の首長・議会議長を訪問し直接手渡しして、税制改正提言へのご理解と法人会活動へのご協力を要請致しました。

４、地域社会への貢献事業（公２）

（１）公開講演会

今年度の公開講演会は5月25日の定時総会後に演題「だから日本は素晴らしい、世界があこがれるこの国に暮らして」のテーマで、カリフォルニア州弁護士でタレントのケントギルバー

ト氏に講演を拝聴会員118名一般64名合計182名の来場を得ました。、また6月9日女性部定時大会においては、演題「相続で失敗しない方法」と題して桑原税理士事務所所長桑原泰蔵氏の講演を拝聴会員35名一般6名、合計41名の出席でありました。さらに11月9日税を考える週間記念講演会として演題「夢は必ずかなう」のテーマで、NHK大相撲解説者舞の海秀平氏をお招きして開催致しました会員140名、一般125名、合計265名の参加となりました。このように例年通り多方面から優秀な講師を招聘致しました。

広報手段として当会広報誌、新聞掲載、管内地域のケーブルテレビ各社で告知をお願いし、また当会ホームページにも掲載するなどして、広く一般の方々にも周知を図りました。以上により今年度の講演会開催は3回、参加者総数は会員293名、一般195名の合計488名でありました。

（２）アルモニア管弦楽団演奏会の開催

平成30年度の地域社会貢献活動の一環として青年部・女性部会員を中心として、嬉野市立轟小学校（児童数166名父兄他18名）と、嬉野市立嬉野中学校（生徒数346名・父兄44名）総合計512名、父兄他62名の参加となり、例年通り近隣の小中2校で開催致しました。

演奏会の冒頭青年部会員より「税の大切さ」などのショート講話を行い、福岡・佐賀のプロの管弦楽集団であるアルモニア管弦楽団（代表久原興民氏他11名）の素晴らしいクラシック音楽の生演奏を、約45分ほどお聴き頂きました。生の演奏に初めて接した児童の多くから感動の声が聞かれました。最後の演奏曲はいつもの開催学校の校歌なのですが、例外なく全員で大斉唱となるのが生演奏の力でしょう。今年度も堂々と声高らかに校歌斉唱をされまして、素晴らしいように思いました。また、嬉野中の生徒さんの礼儀正しさも印象に残りました。

（３）愛の献血運動

献血運動は、本会の地域貢献活動の一環としてこれまで継続事業として積極的に取り組んでまいりましたが、今年で20年目となり、地域の皆様に法人会の献血運動と定着するまでになりました。今年度は武雄市、鹿島市、嬉野市の3地区3会場で当会の女性部など、延べスタッフ21名の動員で行い、受付者393名、採血者352名の実績でありました。なお毎年、献血にお見えになった皆様には、当会より箱ティッシュ5箱・甘納豆・佐賀県米の新米などをプレゼントさせて頂いておりますが、今年度も大好評を博しました。

（４）新作カレンダーバザー展への寄贈事業

毎年の年末に佐賀市で開催されている赤い羽根共同募金会主催の「新作カレンダーバザー展」に県連を通じて12社から募った221点の新作カレンダーを県連を通して出品し、その売上金は県連を通して県内5単位会で集約され、その全額を赤い羽根共同募金会へ寄付致しました。

５、地域企業の健全な発展を目的とする事業

実務研修会（新社会人セミナー・パソコン教室）の開催

（１）新社会人セミナー

平成30年度と同セミナーのテーマは、「知って得するビジネスマナー」と題して「接客・接遇・職場でのマナー向上」を実戦的にセミナー形式で開催、管内企業の社員教育の一環と致しまし

た。今年度は会員企業より68名、一般企業10名の参加を頂きました。講師の招聘では東京より株式会社自覚真由美先生にお願いして好評を博しております。

(2) パソコン教室の開催

社員教育の一環として、ワード・エクセル・パワーポイントの実践的なビジネス活用を目指した講習会を三日間連続して実施致しました。マンツーマン方式で、三日間で合計64名の参加を頂きました。講師は今年度も(有)イツツデモ社長田代真一氏にお願い致しました。

(3) 経営者向けセミナー

2019年スタートダッシュセミナー

第一部 公的支援制度を活用した企業力強化術

講師 DNPイノベーション事業部 荻野清一氏

第二部 最新のセキュリティ対策と脅威について

講師 (株)NTT研究所 粕淵 卓氏

平成31年2月19日武雄センチュリーホテル 会員21名 一般6名

専門的ではございましたが、会社経営者にとって非常に有益なセミナーでありました。

II、収益事業関係

1、会員企業の福利厚生に関する事業

法人会企業の企業保全と人材保障に備える法人会の福利厚生事業として以下の制度の普及拡大を図りました。今年度は増やそう2万社GOGOキャンペーン運動の年度でもあり、当会役員の紹介滑動にも注力して紹介者には佐賀牛をプレゼントするなど、特に関係団体との連携を強化しました。また毎月事務局からも会員企業訪問を兼ねて担当の推進員との帯同訪問を致しました。

(1) 経営者大型保障制度の普及推進

(2) ビジネスガードの普及推進

(3) がん保険制度・医療保険制度の普及推進

(4) 貸倒保障制度(取引信用保険)の普及推進

2、会員支援のための親睦・交流等に関する事業(他2)

(1) 女性部会視察研修・親睦会の実施

① 視察研修

女性部会は9月に韓国ソウル方面へ視察研修を実施致しました。同時に会員同士の親睦交流を深め、絆を確認しました。

参加会員は10名でした。

(2) 異業種交流会

会長に溝上邦治氏(九州ひぜん信用金庫会長)の下、会員企業も51社に増え、今年度も活発

に交流を深めました。

①第9回交流会 「森孝一森鉄工社長講演」～森鉄工の経営戦略と世界市場の見通し～
出席企業31社が参加されました。(鹿島市・清川)

②第10回交流会 「武雄市役所新幹線課山口課長講演」
～新幹線への取り組みと今後の展望について～
出席企業32社(武雄法人会青年部研修会として合同開催)
(武雄センチュリーホテル)

(3) 法人会ゴルフコンペ

第4回法人会会員交流親睦ゴルフコンペ

大会実行委員長山口健一氏の指揮の下、10月13日武雄嬉野カントリークラブにおいて85名の参加で開催されました。晴天に恵まれいいゴルフ日和の中、今年度も会員同士の親睦交流の機会にととても盛り上がりました。

表彰式と懇親会を嬉野コットンクラブで開催して大いに親交を深め、大盛況でありました。なお今年度もチャリティーホールでの収益金40,000円を当会の会員でもある武雄市社会福祉協議会へ寄贈致しました。

III、公益収益事業の詳細並びに会員、青年部・女性部会員、支部別会員、福利厚生制度の推移について

税知識の普及と高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業、地域社会への貢献事業、地域企業の健全な発展を目的とする事業並びに主催した会議、出席した会議、及び青年部・女性部会員の活動等の詳細につきましては、次頁以降の事業報告の付属明細書をご確認ください。

また、当会の会員数、青年部・女性部の会員数、福利厚生制度の推移につきましては、別紙グラフに掲載しておりますので、ご確認ください。

公益社団法人 武雄法人会 事務局 尾形・橋口 (文責：尾形民生)